

1 新たなワイヤレスシステムにふさわしい規律の在り方

【論点】

(1) 新たなワイヤレスシステムの円滑な導入・普及のための方策

新たなワイヤレスシステムの導入・普及によりイノベーションを加速させるための制度上の課題や解決するための方策は何か。例えば以下の事例についてどのように考えるか。また、以下に追加すべき課題や解決するための方策があるか。

- ・ ワイヤレス給電システムを迅速に導入・普及するための技術基準や認証のあり方
- ・ 無線機能内蔵の家電等の市場展開を加速するため、無線設備の技術基準、認証を含む規律のあり方

(2) 電波利用環境を保護するための方策

今後、上記をはじめとする新たなシステムの普及や無線局数の増大に伴い、電波利用環境の保護のために必要となる規律やそのあり方。例えば以下の事例についてどのように考えるか。また、以下に追加すべき課題や解決するための方策があるか。

- ・ 漏洩電波による有害な混信を与えるおそれのある各種設備への考え方
- ・ 技術基準への適合性が確認されないまま流通する無線設備への考え方

(3) その他ワイヤレスシステムの規律に関する課題

上記の視点以外で、既存の制度・手続の見直し、新たに必要となる規律等のあり方、国際協調を推進するための方策として検討すべき課題があるか。

2 電波利用料の活用等によるワイヤレスシステムの高度化・普及の促進方策

【論点】

(1) ワイヤレスシステムの高度化・普及促進に係る施策への電波利用料の活用について

ワイヤレスシステムの高度化・普及促進のため、例えば以下のような施策を推進する必要があると考えられるが、これらの施策に電波利用料を活用することについてどう考えるか。また、以下の施策以外に電波利用料を活用して推進すべき施策があるか。

- ・ 防災、安全・安心等の自営系・公共系システムの整備・デジタル化の推進への支援
- ・ 基礎研究、実用化支援や国際標準化の一層の推進に向けた活動支援 等

(2) その他電波利用料の活用に関する課題

下記の点(※)を含め、電波利用料の活用に関してどのように考えるか。

- ・ 電波利用料の一層の有効利用を図るための方策
- ・ 将来的な一般財源化を含む使途の拡大についての考え方 等

(※) 電波利用料は、電波の適正な利用の確保に関し、無線局全体の受益を直接の目的として行う事務の処理に要する費用を、その受益者である無線局の免許人に公平に分担して頂く、いわゆる電波の共益費用として位置づけられているものであり、その使途が電波法に規定されている。

一方、平成23年11月に実施された「提言型政策仕分け」においては、「ほぼ全ての国民が携帯を持っている以上もはや税金であり、一般財源化すべき」、「非効率な支出を徹底的に精査すべき」などの指摘があり、「将来的な一般財源化を含め、使途を拡大する方向で検討すべき」との提言がなされたところ。

(参考) 電波利用料制度の概要

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/fees/index.htm>

行政刷新会議「提言型政策仕分け」 B3-2：情報通信：電波利用料の活用 評価結果

<http://www.cao.go.jp/sasshin/seisaku-shiwake/detail/2011-11-21.html#B3-2>

3 周波数再編の強化のための方策

【論点】

(1) 電波の利用状況調査の見直しについて

総務省では、電波の利用状況調査を実施し、その結果を基に周波数再編アクションプランや周波数割当計画を策定し、周波数の再編を行っている。この調査に関して、以下の方策についてどう考えるか。また、以下の方策以外にどのような方策があるか。

- ・ 調査周期の短縮(現在は、全周波数帯を3区分に分け、各周波数帯を3年サイクルで調査)
- ・ 調査手法・調査内容の見直し

(2) 周波数再編を加速する方策について

周波数再編を加速するためには、周波数利用の効率化による新たな帯域の確保や周波数の移行を促進する必要があると考えられるが、そのためにはどのような方策が必要と考えられるか。

(参考)

電波の利用状況調査の概要

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ref/research/index.htm>

周波数再編アクションプランの概要

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/freq/search/saihen/index.htm>

4 その他電波有効利用の促進に関する課題

1～3以外で電波の有効利用の促進のため解決すべき課題や提案等